



ムギ類赤かび病の防除時期が近づいています！

令和8年4月3日発表 広島県西部農業技術指導所

気象状況及び生育状況（表1参照）

- ・中国地方1か月予報（4月2日発表）では、4/4～5/3まで平均気温は高く、降水量は多い見込みです。赤かび病の発生に注意し、基幹防除を徹底しましょう。
- ・農業技術センター（東広島市）での小麦（キヌヒメ）の生育ステージが、平年より7日早まることが予想されています。防除時期に注意しましょう。

表1 ムギ類の生育ステージ（東広島市、標高225m）

品種	播種時期	年次	出穂期
小麦（キヌヒメ）	11月7日	本年	4月10日
		平年	4月17日

防除適期（表2参照）

- ・赤かび病は開花期に最も感染しやすいため、防除は**開花始めとその7～10日後の2回防除**を行いましょう。開花始めは、小麦では出穂から約7日後、大麦では出穂から約3日後です。但し、**二条大麦は葯殻抽出期とその7～10日後の2回防除**を行いましょう。
- ・気温により出穂状況が前後するため、ほ場をこまめに巡回し、確認しまししょう。

表2 防除適期の目安

		開花始め	※葯殻抽出期（二条大麦の場合）	
小麦	防除	1回目 ←————→ 2回目		
	出穂後日数	7	7～10日間隔	14～17
六条大麦, キラリモチ	防除	1回目 ←————→ 2回目		
	出穂後日数	3	7～10日間隔	10～13
二条大麦	防除	1回目 ←————→ 2回目		
	出穂後日数		7～10日間隔	13 20～23

開花始め：1穂につき数花開花しているものが、全穂数の10～20%に達した日。

葯殻抽出期：穎の先端から葯殻が押し出される時期

防除薬剤について

- ・薬剤散布については、農薬使用基準（使用量、希釈倍数、使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底してください。なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム（<https://pesticide.maff.go.jp/>）」を参照してください。

お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム

〒739-0151

東広島市八本松町原6869

TEL：082-420-9662（直通）



ひろしま病害虫情報

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>)